

第3章 計画の方向性

1. まちの将来像

本計画は「第5次西宮市総合計画」を上位計画とし、その個別計画として位置付けられ、総合計画と密接に連携して計画を進めます。そのため、本計画においては、総合計画に

示された将来像やその実現のための取組内容について、「みどり」の視点から実現を図ります。

■表11:第5次西宮市総合計画の概要

■計画期間 令和元年度から令和10年度(2019年度から2028年度)の10年間

■10年後の西宮の将来像(まちや人の姿)

未来を拓く 文教住宅都市・西宮 ～ 憩い、学び、つながりのある美しいまち ～

私たちが大切にする西宮の豊かな暮らしは、人々の憧れを集め、私たちをいつまでも住み続けたい気持ちにさせてくれます。「文教住宅都市」としてのまちの価値は一段と高まり、未来の世代へと着実に引き継がれていきます。

- 1 私たちは、六甲から北摂に連なる山並みと大阪湾、これをつなぐ武庫川や夙川などに抱かれながら憩い、安らかに暮らしており、この地で育まれてきたまちの風情や、自然と都市の景観に誇りを持っています。誰もが安心して行き交い、暮らすことのできる西宮は、活気と魅力にあふれるまちになっています。
- 2 まちのあちらこちらから、子供たちの元気な声が聞こえてきます。子育てをする人も、それを応援する人も、誰もが温かい気持ちで西宮の子供たちを育みます。心豊かで健やかに育った子供たちは、将来も西宮に住みたいと感じています。
- 3 身近な地域での暮らしを一緒に楽しむ中で、たくさんの縁が生まれています。地域でお互いに見守り、支え合うことのできる西宮のまちで、一人ひとりが生き生きと、自分らしい生活を楽しんでいます。
- 4 文教住宅都市の個性と魅力にひかれ、移り住む人や訪れる人が増えています。たくさんの人々が学び、働き、遊ぶ中で、様々な交流の輪が広がっており、大学や産業とも連携した、まちの元気が生まれています。
- 5 きれいな水や緑がある、清潔で快適な暮らしが、みんなの生活を豊かにしています。私たちの暮らしを支える都市基盤は、一段と安全で利用しやすいものとなっています。地域では、あらゆる年齢の人々が防災・減災の活動に参加し、何かあっても助け合えるつながりと、より強固になった行政の防災体制に、みんなが安心を感じています。
- 6 たくさんの方が地域の活動やまちづくりに積極的に参加し、西宮のまちに対する人々の愛着と誇りが住民自治の成熟につながっています。ICT分野における技術革新等を最大限活用した、効率的で公正な行政運営がみんなから信頼されています。

2. みどりに関するまちづくりの課題の抽出

第5次西宮市総合計画に掲げられた、まちの将来像を実現するために設定された6つの“まちづくりの主要課題”や都市宣言などの内容から、みどりの機能や市民アンケート調

査結果などを通じて抽出される「みどりに関するまちづくりの課題」を図23のとおり整理しました。

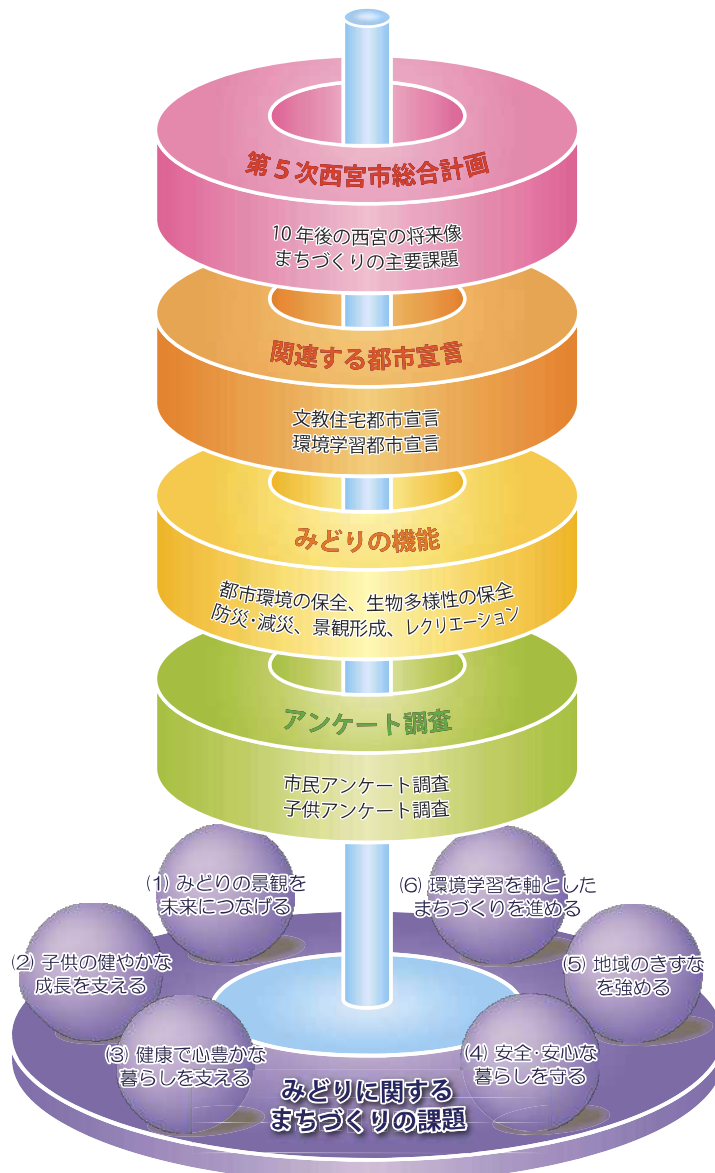
■表12:第5次西宮市総合計画における“まちづくりの主要課題”

- ① 住宅都市としての価値を未来に引き継ぐ
- ② 子供の育ちを応援し、子育てしやすい環境をつくる
- ③ 自助と共助(互助)の考えで地域のきずなを強め、地域共生の社会に向かう
- ④ まちの魅力ある資源を生かし、市民文化を発信する
- ⑤ 安全・安心で快適に過ごせるまちの基盤や仕組みをつくる
- ⑥ 地域力の向上を図りつつ、長期的な展望に立った持続可能な行政運営を行う

出典) 西宮市「第5次西宮市総合計画 基本構想」p.36-37

3

■図23:みどりに関するまちづくりの課題の抽出イメージ



3. 課題解決に向けた目標(目指す姿)

本計画では、前項で抽出されたみどりに関するまちづくりの課題解決に向けて、現況と課題を踏まえた目標(目指す姿)

みどりの景観を未来につなげる

本市は、良好な住環境や生物多様性の豊かな自然環境を有し、个性的で美しい景観を備えた文教住宅都市です。本市の山・川・海といった自然環境や、神社仏閣や大学の樹林

■目標

・水と緑のネットワークと、特色ある花とみどりの景観を守り育てます。

■主な取組

- ・山・川・海の緑のネットワークの保全により、生物多様性の確保に努めます。
- ・桜の名所の再生や、新たな花の名所づくりを行います。

子供の健やかな成長を支える

少子高齢化が進む現代社会にあって、全ての子供を心身ともに健やかに、たくましく育む環境が求められています。そのため、屋外で自然に触れ合う子供の遊びや学びの場、また

■目標

・子供の遊び環境や自然体験の機会を充実させます。

■主な取組

- ・子供と子育て世代に配慮した公園のリノベーションを進めます。
- ・子供の自然体験や環境学習の充実を図ります。

健康で心豊かな暮らしを支える

文化・芸術やスポーツ、自然の中での憩いなどに親しむ市民の姿は、文教住宅都市の心豊かな暮らしを象徴するものです。そのため、暮らしを支えるスポーツやレクリエーショ

■目標

・レクリエーションの場を創出・拡充し、ゆとりと安らぎのみどり空間を充実させます。

■主な取組

- ・健康づくりに配慮した公園のリノベーションを進めます。
- ・緑のまちなみを保全します。

を設定し、様々な取組を進めていきます。

などのみどりを大切に守り、更にこの価値を高めながら、次世代へと引き継いでいく必要があります。



夙川河川敷緑地

子育て世代の交流の場となる公園や自然環境の保全、創出、活用に取り組む必要があります。



甲子園浜海浜公園

ン、健康づくりなどに親しめる公園や、多世代が交流できる自然環境の保全、創出、活用に取り組む必要があります。



西宮浜総合公園

安全・安心な暮らしを守る

集中豪雨や土砂崩れなどの災害から市民を守る、公園や緑を活用したグリーンインフラの整備は、市民の安全・安心な暮らしに必要な不可欠なものです。そのため、避難地としての

■目標

・防災機能を拡充し、みどり空間の防犯・安全性を高めます。

■主な取組

・防犯・防災に配慮した公園のリノベーションを進めます。

・子供の遊び場の安全を確保します。

地域のきずなを強める

3 将来にわたり、本市の良好な自然環境を維持するには、地域のきずなを強め、地域力の向上を図る必要があります。

■目標

・花やみどりを通じた地域活動を活性化させます。

■主な取組

・市民が主体となった花とみどりのまちづくりの活動を進めます。

環境学習を軸としたまちづくりを進める

本市では、平成15年(2003年)に環境学習都市宣言を行い、市民・事業者・行政の参画と協働による環境学習を軸とした持続可能なまちづくりを目指して、生物多様性の保全など

■目標

・山・川・海の特徴を生かした学びあいの場を広げます。

■主な取組

・生物多様性にしのみや戦略の推進を図ります。

・環境学習を中心に、西宮の豊かな自然について普及啓発を進めます。

役割を担い、様々な災害に対応する防災・減災機能を持つ公園や緑地の保全、創出、活用に取り組む必要があります。



防災機能を有した公園施設の配置(防災パーゴラ、手押しポンプなど)

そのため、公園美化活動や緑化活動など、地域のきずなを強める活動の拡大・活性化に取り組む必要があります。



地域の公園での“花のコミュニティ”

様々な環境問題に取り組んでいます。こうした取組を更に進めるため、環境学習に関わる人材育成や市民意識の向上に取り組む必要があります。



甲東北保育所でのビオトープ

コラム 生物多様性とは

生物多様性とは、生き物たちの豊かな個性とつながり
のことです。地球上の生き物は40億年という長い歴史
の中で、様々な環境に適応して進化し、3,000万種
ともいわれる多様な生き物が生まれました。これらの

生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的
に支えあって生きています。生物の多様性に関する条
約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様
性という3つのレベルで多様性があるとされています。

生態系の多様性

様々なタイプの自然があること



種の多様性

多種多様な生物がいること



遺伝子の多様性

遺伝子的特性において
個体差があること

